

詳細な説明

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、タブレットコンピューター等のズボン臀部のポケットに収まらないものを、タブレットコンピューター等のカバー、ケースに取付し、ポケットを利用し携帯可能にする保持具に関するものである。

【背景技術】

【0002】

近年、タブレットコンピューターは多様な機能を利用できるツールとして全世界で需要が高まっている。また医療機関などでも利用されるなど、さまざまな分野での活用が期待されている。しかしながら、タブレットコンピューターは大画面という構造上、衣服に収めることが難しい。そのため、携帯時には、直接手にもつことが多く、落下時に保護するためのツールや携帯時用のツールが使用されている。主には、筐体のカバーやケースで覆い直接手に持つもの、カバーなどに、肩に掛けるための紐を取り付けたものや、手提げ部分を取り付けたもの、ベルト保持具を取り付けたもの、衣類のポケットをタブレットコンピューターが入る大きさに改良されたものなどがある。

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

しかしながら、これまで提供されているタブレットコンピューター保持具は、携帯時には少なくとも片手がふさがれたり、カバーやケースからの筐体取り出し及び挿入時に両手を使わざるを得ないという問題があり、高頻度で携帯する場合、これらの煩わしさが障害となることがある。直接手にもつものや、手提げ用のものは、当然のことながら携帯時に片手をふさぎ、両手を使わざるを得ない場面ではどこかへ置いておく必要が生じ、盗難に遭う可能性が高くなる。紐等で肩に掛けるものは、一考すると両手が開放されている感じがあるが、筐体のケース収納時に、その不安定性から、片手はケースを、もう片手は筐体を持たねばならず、収納のための意識を向ける必要が生じ、例えば、歩行しながらの収納は難しくなる。また、短時間の携帯の場合、肩に掛ける動作が煩わしく、結局、手に持って携帯する場面も想定され、紐部を持て余す。ベルトに保持具を取り付けるものは、保持具取り付け後の筐体取り出し及び挿入は片手で容易に行えるが、携帯のたびに保持具を装着する作業が生じ、これも煩わしい。衣類ポケットのサイズを改良するものは、衣類のサイズに依存し、体型の変化で変更を余儀なくされ、また、見た目も奇抜で、ファッション上の理由から使用する場面が著しく制限される。

【0004】

そこで本考案は、上述の問題点を鑑み創出されたもので、タブレットコンピューターが挿入されたカバーやケースをズボンの臀部ポケットに容易に片手で挿入、取り出しが可能で、また両手が開放され、例えば、両手で荷物を持ちながらでも邪魔にならず、子供を抱くときなどにも有用性があり、また、タブレットコンピューターの特性のひとつである、地図を見ながらの移動の場合には、歩行中でも立ち止まることなく出し入れが可能であり、複雑な製造工程もなく、簡単に安価に製造できるタブレットコンピューターポケット保持具を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0005】

上記の課題を解決するために、本考案は、下記のタブレットコンピューターポケット保持具を提供する。現在、流通しているズボン、スラックスの類の臀部ポケットの規格がほぼ一樣のため、同規格内に収まる

大きさの薄硬板、若しくは、革などの適度に強度のある素材で薄硬板を内包したものに、折れ曲がり、若しくは、湾曲可能な素材で接続若しくは延長し、タブレットコンピューターカバー、若しくはケース上部に固定する。

【考案の効果】

【0006】

本考案のタブレットコンピューターポケット保持具は、カバー、ケースに取り付けることでズボン、スラックスの類の臀部ポケットにぶら下げる形で収納可能になり、タブレットコンピューターの携帯を容易にし、瞬時に出し入れすることができ、ファッションとしての使用も考えられ、複雑な部品を必要とせず、製造に要する工程及びコストが低減でき、多様なバリエーション展開が容易である。

【考案を実施するための形態】

【0007】